



GET BACK YOUR NATURAL SMILE
インプラントで
豊かなライフスタイルを
NEW QUALITY OF LIFE WITH DENTAL IMPLANTS



SIMPLY DOING MORE

歯を失う原因は何か？

■ 病気によって歯が失われることがあります。

年齢にかかわらず、虫歯・歯周病や歯根の炎症などが原因で歯を失うことがあります。

■ 事故によって歯を失うことがあります。

日常生活上、または運動中などの事故により、歯や歯根にダメージを負い、歯を失うことがあります。

■ 生まれつき歯が足りないことがあります。

先天的に歯が足りないことによって、隙間が生じることがあります。



歯を失った時に治療は必要か？

**歯を失ったままにしておくと、
生活のさまざまな場面で悩みがでてきます。**

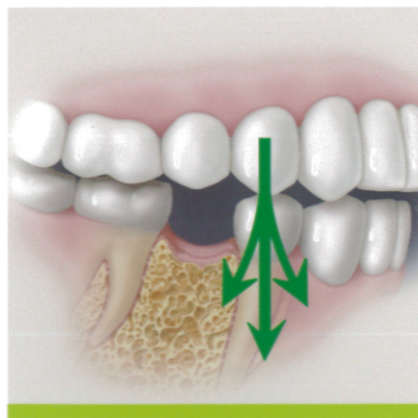
- 歯を失った部分の骨がやせていく
- 残っている歯の位置がずれてしまう
- 噛み合わせが悪くなり、食事が楽しめなくなる
- 言葉をうまく発音できず、人との会話にためらいを感じる
- 顔の輪郭が変わってしまう
- 自信が持てなくなる

ブリッジ、部分入れ歯、総入れ歯など、従来の治療方法では、
歯を支えるための骨の喪失を防ぐことは困難でした。
このことが、歯を失うことによって起こる大きな問題の1つです。



すべての歯を失うと、顔の輪郭が変わり、
表情が老けて見えます。

歯を失ったままにしておくと：骨の喪失



歯根は噛む力を骨に伝えます。これによって骨の形を保ち、損傷を防ぎます。



歯根が失われると、骨に伝わる力がなくなり、歯を失った部分の骨がやせていきます。



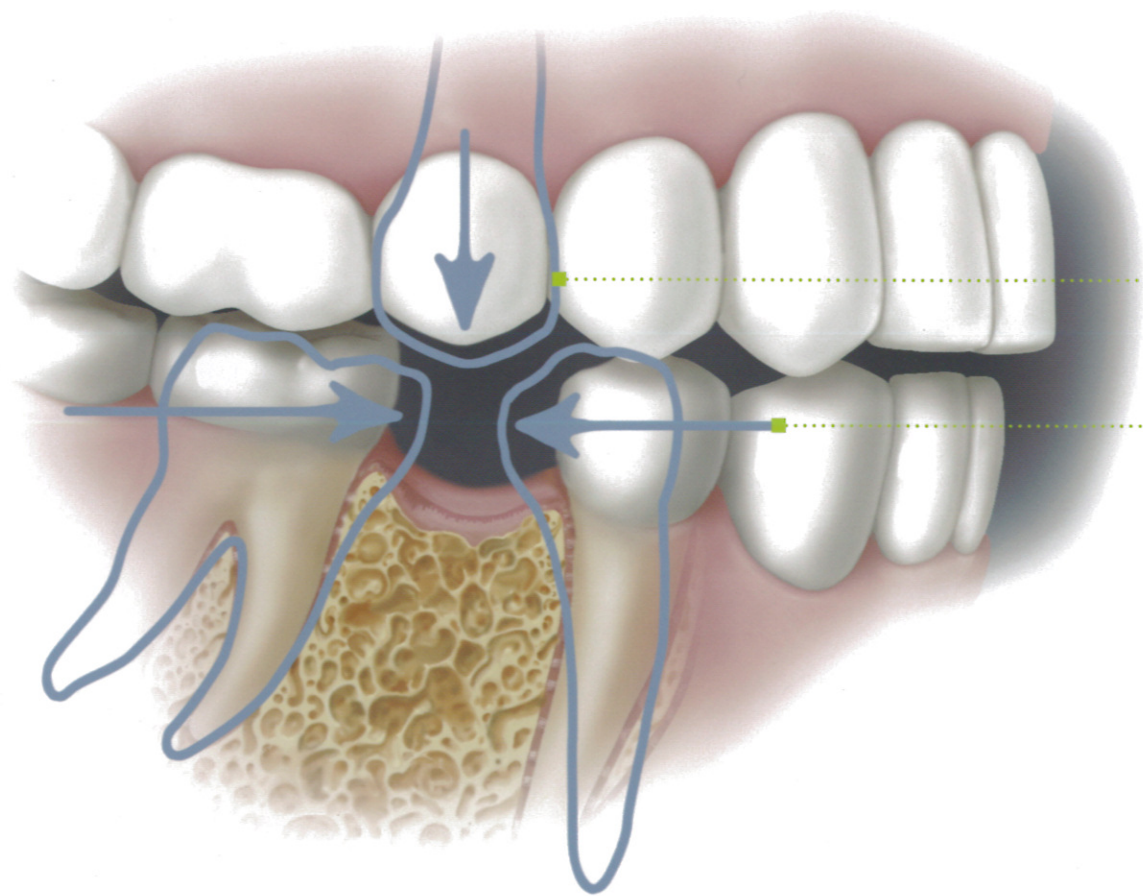
骨の喪失によって、見た目が悪くなります。

前歯の骨欠損の例



骨の喪失によって、顔の輪郭が変わってしまいます。

歯を失ったままにしておくと：歯が伸び出る、歯が傾く



噛み合う歯がなくなり、
対合歯が欠損部に移動する場合があります。

両隣の歯が欠損部に移動
する場合があります。



噛み合う奥歯がない状態

歯を失ったままにしておくと…

すべての歯を失うと、 色々な問題がでてきます。

- 筋肉の緊張が失われる
- 食べ物を噛むことが難しくなる
- 食生活に制限が生じ、栄養摂取状態が悪くなる
- 話すことが難しくなる

入れ歯など従来の治療方法では、 次のような悩みを お持ちの方もいます。

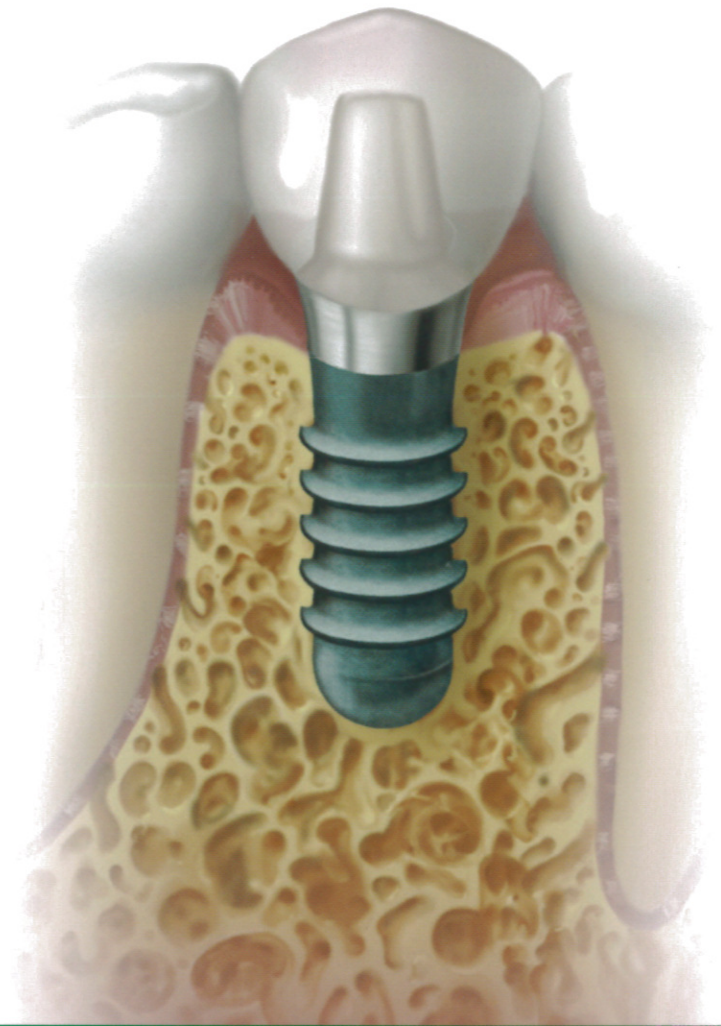
- 入れ歯による痛み
- 入れ歯の下で菌が増殖するリスク
- 頻繁に入れ歯の調整を行う必要がある
- 入れ歯がはずれたり、ずれたりすることに対する不安
- 味覚と触感が損なわれる



インプラントとは？

インプラント治療では、手術によりあごの骨にインプラント体（人工歯根）が埋め込まれます。人工歯は天然歯と同様に見えるようデザインされており、人工歯根によって支えられます。

- インプラントは、あごの骨に埋め込まれる純チタン製の小さなネジです。
- インプラントは、人工歯、ブリッジ、入れ歯のための土台となります。
- インプラントは、50年以上にわたり、研究・開発されている技術です。
- インプラントは、あごの骨が失われるのを防ぐことができます。
- インプラントは、天然歯と同じようにあごの骨に固定され、自然な見栄えを実現します。



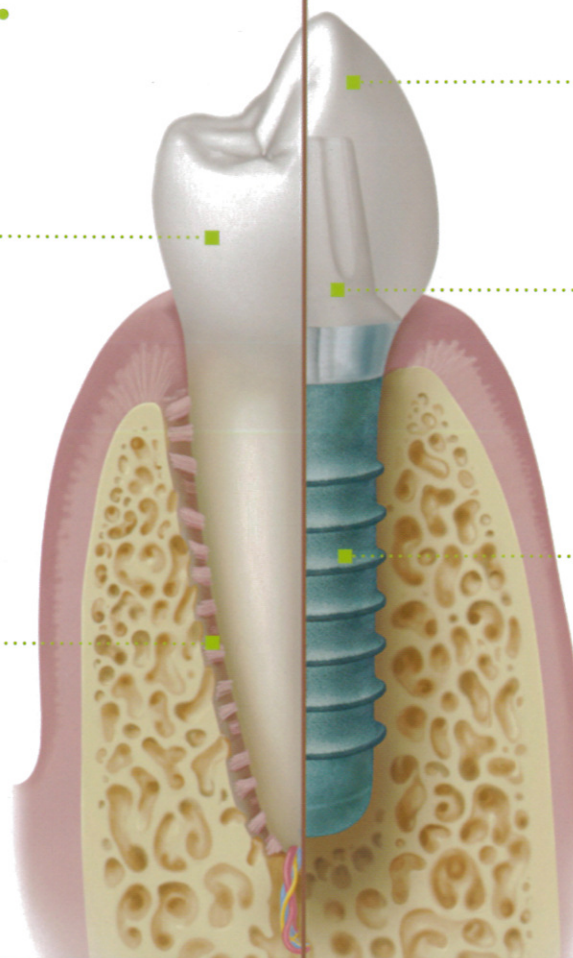
天然歯に近いインプラント

- インプラントは、あごの骨に埋め込まれる純チタン製の小さなネジです。
- インプラントは、50年以上にわたり、研究・開発されている技術です。

天然歯の表面は、中の象牙質を保護するために、硬いエナメル質で覆われています。個人によって歯の色と形は異なります。

天然歯の歯根膜は、あごの骨に歯根をしっかりと固定する役割があります。

天然歯 インプラント



セラミック人工歯は、天然歯の色と形に合わせることが可能です。

アバットメント（支台）は、人工歯とインプラント体（人工歯根）を固定します。

インプラント体は、強固な土台としての役割があります。表面は、骨と結合するようにデザインされています。

インプラントと従来の治療方法の比較

インプラント治療は、歯を1本あるいは複数失った場合、またはすべての歯を失った場合にも適応となる治療方法です。

歯を1本失った場合



従来の治療方法



- 失った歯の両隣の歯を削って、1本の歯の代わりとなるブリッジを使用します。
- 両隣の健康な歯を削る必要があり、削られた歯への負担が増加します。

インプラント



- インプラントは、天然歯と同じような見栄えと機能が得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- インプラントとセラミック人工歯を使って、両隣の歯を削らずに治療ができます。
- ブリッジや他の治療方法と異なり、健康な歯を削る必要がなく、周りの歯に負担をかけません。

インプラントと従来の治療方法の比較(続き)

歯を数本失った場合



従来の治療方法



- 部分入れ歯は、金属などのバネを健康な歯にかけて使用します。

インプラント



- インプラントは、天然歯と同じような見栄えと機能が得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- 入れ歯と異なり、しっかりと固定され、ずれなどによる不快感を解消します。
- 健康な歯に負担をかけず機能と見栄えを維持することができます。

インプラントと従来の治療方法の比較 (続き)

歯をすべて失った場合



従来の治療方法



- 個人に合わせた総入れ歯を作ります。
- 総入れ歯は、歯茎全体にかぶせ、上あごの場合は口蓋も覆います。

インプラント



- インプラントは、天然歯と同じような見栄えと機能が得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- インプラントを用いた入れ歯はしっかりと固定されており、安定性が得られます。
- お掃除のために自分自身で取り外すことも可能です。
- インプラントは、総入れ歯とは異なり、自然に噛むことができ、おいしく食べられます。

インプラント治療の留意点

従来の治療方法と比べると…

- 治療期間が長くなったり、治療回数が増えることがあります。
- 一般的に、外科的侵襲が大きくなります。
- 健康保険が適用されません。

インプラントを長持ちさせるには…

- 自分の歯と同様、もしくはそれ以上のお手入れと、定期的なメンテナンスが必要です。
- 口腔衛生状態、かみ合わせを定期的を確認し、必要に応じて処置をしないと、インプラント周囲の骨が減ってしまう恐れがあります。
- インプラントを支える周りの骨が減ってしまうと、インプラントが長持ちしません。

インプラントがあなたにとって最適な選択肢となるかについては、歯科医師にご相談ください。



歯を1本失った場合：従来の治療方法

インプラントが開発されるまでは、両隣の歯で支えるブリッジが唯一の固定式の修復方法でした。

- ブリッジを作るには、ブリッジを固定するために両隣の健康な歯を削らなくてはなりません。
- ブリッジのために削られた歯には失った歯の分の負担が生じるため、将来的に問題を起こしやすくなります。
- 骨の喪失によって、将来的にブリッジの下に見た目の悪いスペースができる可能性があります。
- 固定している歯のいずれかが抜けてしまうと、ブリッジを長くし、それを支えるために健康な歯をさらに削る必要が出てきます。

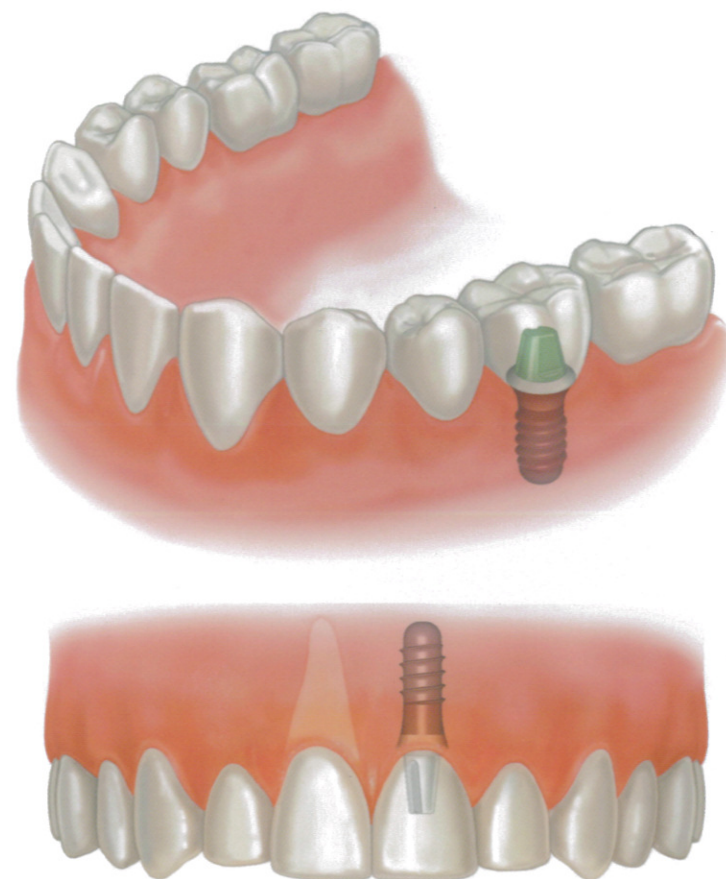


健康な歯を削って支えにした従来のブリッジ

歯を1本失った場合：インプラント治療

インプラントは天然歯に次ぐものです。

- インプラントで支えられる人工歯は歯根の代わりとなり、あごの骨がやせほそるのを防ぐことができます。
- 天然歯と同じような見栄え、機能が得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- 健康な歯を傷つける必要がありません。
- メンテナンスを行うことにより、長期間にわたって機能と見栄えを維持することができます。



インプラントで支えられた人工歯

歯を1本失った場合：インプラント治療（続き）



インプラント治療前

インプラント治療後



修復後の自然な笑顔

フロリダ大学インプラント歯科学センター提供

歯を1本失った場合：インプラント治療（続き）

- 歯根の代わりとなり、あごの骨がやせほそるのを防ぐことができます。
- 天然歯に近い形状なので、歯根があったスペースにちょうど良くフィットします。
- 天然歯と同じような見栄え、機能が得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- 健康な歯を傷つける必要がありません。
- メンテナンスを行うことにより、長期間にわたって機能と見栄えを維持することができます。



抜歯窩（抜歯した跡）



抜歯部位



抜歯窩に埋入されたインプラント

歯を数本失った場合：従来の治療方法

部分入れ歯には不便な点があります。

- 部分入れ歯は、ピンク色のアクリル土台の上にプラスチックの歯を固定します。
- 部分入れ歯は留め金などによって固定されます。
- 必ずしも見た目よく仕上がるわけではありません。
- 留め金が健康な歯を傷つける恐れがあります。
- 治療方法によっては、健康な歯を削る必要があります。



残っている歯によって支えられる部分入れ歯



取り外し可能な部分入れ歯

歯を数本失った場合：インプラント治療

インプラントは部分入れ歯に代わる魅力的な選択肢です。

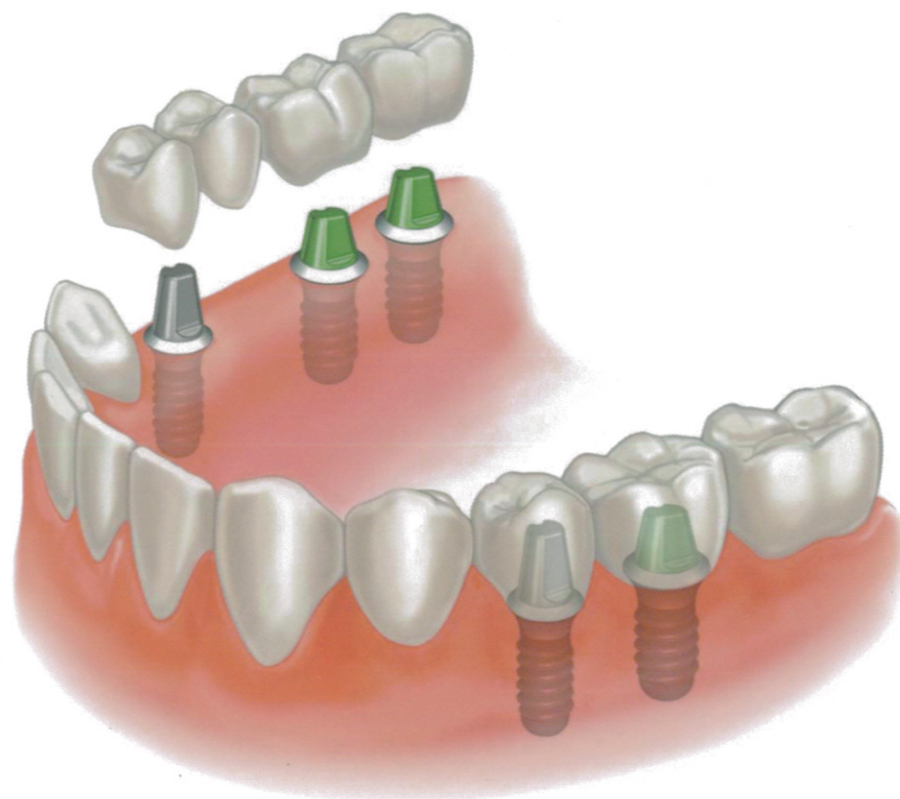
- 天然歯と同じような安定性、機能、見栄えが得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- 両隣の健康な歯を削る必要がありません。
- メンテナンスを行うことにより、長期間にわたって機能と見栄えを維持することができます。



インプラント治療前



インプラント治療後



インプラントと人工歯

フロリダ大学インプラント歯科学センター提供

歯をすべて失った場合：従来の治療方法

従来の治療方法は総入れ歯です。

- 個人に合わせた総入れ歯を作ります。
- 総入れ歯は、あごに合わせたピンク色のアクリル土台の上にプラスチックの歯を固定します。
- アクリルの土台が味覚に影響する場合があります。
- 噛み合わせが悪くなる場合があります。
- あご全体の骨がやせることがあります。



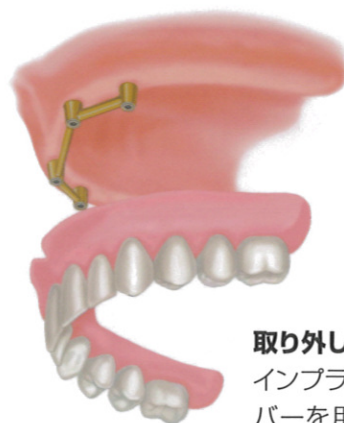
従来の総入れ歯

歯をすべて失った場合：インプラント治療

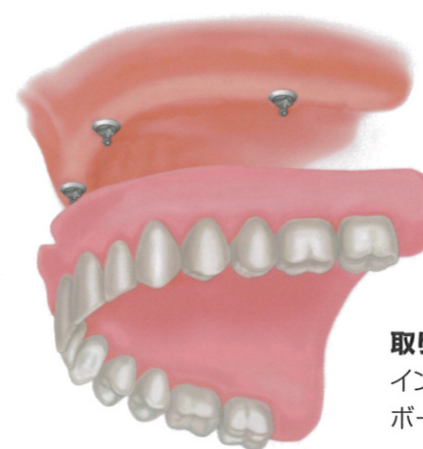
- インプラントには、ブリッジや取り外し式の入れ歯を固定するのに必要な安定性が備わっています。
- 骨の質と量が充分であれば、固定式ブリッジを作ることができます。これは天然歯に次ぐものです。
- インプラントで固定する総入れ歯を作ることでもあります。
- インプラントを用いた総入れ歯はしっかり固定されており、お掃除のために自分自身で取り外すことも可能です。
- 天然歯と同じような安定性、機能、見栄えが得られるよう設計されており、従来のライフスタイルを取り戻すことができます。
- 総入れ歯とは異なり、自然に噛むことができ、おいしく食べられます。
- 顔の輪郭が変わるのを防ぐことができ、また、入れ歯用安定剤を使用する必要がありません。
- メンテナンスを行うことにより、長期間にわたって機能と見栄えを維持することができます。



固定式：
インプラントの上に
ねじで固定する



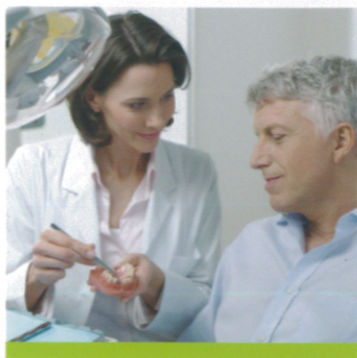
取り外し式：
インプラントの上についた
バーを用いた装置にはめる



取り外し式：
インプラントの上についた
ボール型の装置にはめる

インプラント治療の流れ

歯科医師によるインプラント手術は、局部麻酔下で行われ、あごの骨にインプラント体（人工歯根）が埋め込まれます。手術後の治癒期間では、インプラント体と骨がしっかり結合し、その後にアバットメント（支台）、人工歯をインプラント体に取り付けます。インプラントを長期的に維持させるには、インプラント治療した部分に限らず、口腔内全体を衛生的に保ち、定期検診を受けることが不可欠です。



1) 診査と治療計画

- 患者さんの全身状態の問診と口腔内の状態の診査を行います。
- あごの骨の量と質を記録するため、お口の中の型を取り、レントゲン・CT撮影を行います。
- これらのデータを用いて、一人ひとりの患者さんに適した治療計画を立案します。



2) インプラント体の埋入と治癒

- 局部麻酔をかけて、インプラント体を埋め込みます。
- インプラント体と骨が結合するまで、期間をおきます。
- 治癒期間は、インプラント体の種類、骨の健康状態、体調によって異なります。

インプラント治療の流れ(続き)



3) アバットメント(支台)の装着

- インプラント部分の精密な型取りを行います。
- 患者さんに適したアバットメントのデザインを選択し、装着します。



4) 人工歯の装着

- アバットメントに適合し、患者さんの歯の形と色に合わせた人工歯を作ります。
- 口腔内にぴったりと合うことを確認し、インプラント体の上に取り付けます。

インプラント治療の流れ(続き)



5) 治療後の歯磨きと定期検診

- 天然歯と同様に、よくお手入れしてください。
- 毎食後、そして、就寝前に、丁寧に歯磨きをしてください。
- 歯ブラシは柔らかいものを使用し、定期的に交換してください。
- 歯科医師による定期的なメンテナンスを受けてください。

インプラントがあなたに適した治療方法であるかを判断する上で、歯科医師の経験が重要な役割を果たします。インプラントにはさまざまなタイプがあり、インプラント治療があなたに最適な選択肢か、また、どのインプラントが最善の選択肢となるかについては、歯科医師にご相談ください。

ストローマン：世界で信頼されるブランド

安心につながる近道は、ない。

ストローマンの誇り。それは、科学的エビデンスに重きをおく研究開発の姿勢です。

患者さんのQOLを高めるために。ストローマンの追究は、今日も続いています。

- ストローマン社はスイスのバーゼルを本拠地とし、インプラント歯科学、修復歯科学、口腔組織再生の領域のグローバルリーダーです。
- 60ヶ国以上の国々で展開し、従業員数は2,500人を超えるグローバル企業です。
- 世界で500万人以上の患者さんがストローマンインプラントによる治療を受けています。
- スイスの精密な技術と徹底した品質管理のもとに製品は作られています。
- 50年にわたる調査と研究に支えられています。
- グローバルな非営利学術組織であるITI (International Team for Implantology) とのパートナーシップにより、学術的な裏付けのある製品を提供しています。



よくある質問 (FAQ)

痛みと麻酔

Q:インプラントの手術に痛みはありますか？

A: 歯科医師は、手術中できるだけ痛みがないよう、局部麻酔をします。広い範囲に数多くのインプラントを入れる場合や特殊な手術の場合に、痛みを軽減する様々な療法を行うこともあります。詳しくは、担当医にご相談ください。

インプラントの費用

Q:インプラントの治療費はどのくらいかかりますか？

A: インプラントは、健康保険が適用されません。治療計画によって高額になることがあります。しかし、インプラントのメンテナンスをきちんと行なえば、長期にわたって機能と見栄えを保つことが可能であり、豊かなライフスタイルが実現します。

インプラントの審美性

Q:インプラントをしていることは他人に気づかれますか？

A: いいえ。インプラントの人工歯は、天然歯の形、大きさ、色に合わせて作られます。



よくある質問（FAQ）（続き）

材質の信頼性と耐久性

Q:インプラントは何でできていますか？

A:インプラントは純チタンでできています。これは、生体組織に適合しやすく、信頼性の高い材質です。

Q:インプラントはどのくらいもちますか？

A:インプラントは、歯科医師による綿密な治療計画と適切なメンテナンスを行うことにより、長い期間にわたって、機能させることが可能です。しかし、インプラントの周りに歯垢がついた状態にしていると、天然歯と同様に、歯周病のような状態になります。インプラントを長持ちさせるためには、毎日丁寧に歯磨きし、必ず定期検診を受けてください。

治療期間と治療方法

Q:治療全体ではどのくらいの時間がかかりますか？

A:治療期間は患者さんの状態と治療計画によって異なります。通常4～6カ月かかります。詳細については、担当医にご相談ください。

Q:インプラントは何本くらい入れればいいのですか？

A:抜けた歯1本に対して必ずしも1本のインプラントを入れる必要はありません。あごの骨の質と量によっては入れることができない場合もあります。

よくある質問 (FAQ) (続き)

その他

Q: インプラントの治療を受けるための年齢制限はありますか？

A: インプラント治療は、骨の成長が終わってから行われます。通常、骨の成長は18-20歳ごろに完了しますが、個人差があります。なお、インプラント治療を受ける年齢の上限はありません。

Q: 糖尿病などの慢性疾患があってもインプラント治療を受けられますか？

A: 糖尿病などの慢性疾患がある方は、医師の指導のもとに十分にコントロールされていれば大丈夫ですが、状態によってはインプラント治療ができない場合があります。詳しい病状を伝え、担当医とご相談ください。

Q: 歯周病があってもインプラント治療を受けられますか？

A: 歯周病があると口腔内の衛生状態がよくない場合があります、インプラントを埋め込むことはできません。インプラント治療を受ける前に、歯周病を治療する必要があります。